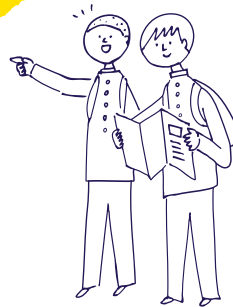


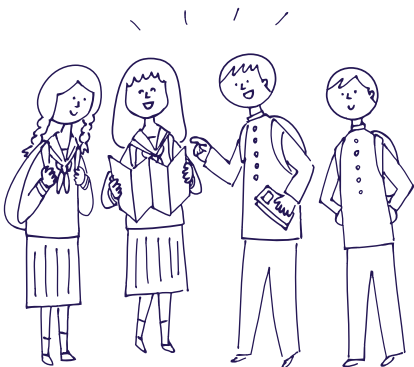
／つなプロ／

次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト



取組紹介Book

令和2年度から令和5年度までの活動記録





はじめに

京都府内の博物館ネットワーク「京都府ミュージアムフォーラム」に加盟する地域ミュージアムと京都府が連携したプロジェクト、それが「次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト(愛称:つなプロ)」です。

「つなプロ」は、ミュージアムと学校関係者、地域で活動する団体が協力して、次世代を担う子どもたちに、自らの地域の文化資源の魅力を再発見してもらう取組を行うことで、愛着を深め、地域文化の継承を図ることを目的としています。

この取組紹介Bookでは、つなプロのこれまでの軌跡をたどり、各地域で実施された特色あるモデルを紹介しています。

本冊子が地域での探究学習を考えておられる教育関係者や出前授業に加え、もう少し深く地域と関わりたいと考えておられるミュージアム関係者の取組の一助になれば幸いです。



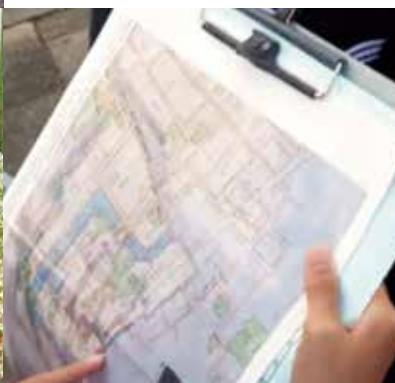
Contents



<p>02 つなプロの立ち上げ</p> <p>03 R3つなプロモデル事業始動</p> <p>①宮津モデル</p> <p>②亀岡モデル</p>	<p>07 R4つなプロ京丹後モデル</p> <p>10 R5つなプロ向日モデル</p> <p>13 宮津&亀岡 成果発表会</p> <p>つなプロシンポジウム</p>
---	---



01



つなプロのはじまり

「次世代を担う子どもたちがふるさとに愛着を持ち、自分たちの言葉でその思いを表現できる大人になってほしい、そのためにミュージアムに出来ることがあるはず」、京都府立丹後郷土資料館の学芸員と事務局を務める京都府文化生活部文化政策室の職員とのこんなやりとりがはじまりでした。

取組を「次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト」と名づけ、まずは京都府北部の宮津市でミュージアム(学芸員)と教育機関(学校教員)のネットワーク形成を行い、子どもたちの活きた地域教育につなげるべく、宮津市教育委員会の全面的な協力のもとで、取組を始動しましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、子どもたちを対象とした取組は断念し、オンラインでの取組をベースにネットワーク形成に向けた意見交換、次世代向けプログラム開発を行いました。

【初年度:令和2年度の取組】

(1) 博学連携のネットワークを形成

(2) 丹後地域の子もたちが、自らの地域の魅力を再発見し、地域への愛着を深めることが出来る体験活動の検討

つなプロ検討会議

つなプロに取り組むために大事にすべきことは何か、有識者の意見を伺い、意見交換を行いました。

【日時】令和3年2月3日 WEB開催

【参加】有識者、実行委員会(ミュージアム、京都府)

【内容】●ミュージアム(学芸員)と教育機関(学校教員)のネットワーク形成では、地域住民とも関わりを持つことが重要
●既に地域で行われてきた街歩きツアー等は参考にできる。子ども向けにアレンジを加えていくとよい。

意見交換会

【日時】令和3年2月25日 WEB開催

【参加】小中学校教員、宮津市教育委員会、実行委員会(ミュージアム、京都府)

【結果】●街歩きツアーコースを宮津城下に決定
●学びのポイントは、普段目にしていないものを糸口に、地域の歴史を想像する視点を養うことや世代間交流・地域住民との交流
●学校の授業とは違った視点の学びを提供することが重要

つなプロ「街歩き下見ツアー」

京都府立丹後郷土資料館で実施している既存の解説ツアーをベースに、ミュージアムと教育関係者がプログラム開発に向けた下見を行いました。

【日時】令和3年3月16日

【参加】外部有識者、中学校教員、宮津市教育委員会 ※ガイド:京都府立丹後郷土資料館 学芸員

コース【宮津市役所前→大手橋→大手川右岸→宮津小学校→宮津駅→関西電力→宮津警察署→流域下水道ポンプ場→たもの木→本丸付近→石垣石材(移築)→本丸石垣→一色稲荷→大手橋→宮津市役所前】の約2時間の行程



事業報告会

下見ツアーの結果報告とともに、次世代を対象とした取組にするためのポイントを話し合いました。

【日時】令和3年3月24日 WEB開催

【参加】外部有識者、実行委員会(ミュージアム、京都府)

【結果】●宮津城下街歩きツアーは、今はない宮津城の痕跡をたどるだけでなく、痕跡が消えていったプロセスをも学ぶことができ、街の歩き方そのものが変わる有意義なものだった。シビックプライドにつながる取組だと感じる。
●今後子どもを対象にするにあたり、ツアー参加への好奇心をかき立てる問題提起が必要
●ミュージアムの資料により宮津城の痕跡を発見していく活動とともに、城を再現したVRを活用するなど、体験とデジタルを織り交ぜることでより深い学びにつながるのではないか。
●学びを提供し続けていく体制の構築は、学びを育てることと同じくらい重要

令和3年度

次世代と地域文化をつなぐ
ミュージアムプロジェクト

宮津

モデル



宮津城大手門 (CG制作:古川輝夫氏)

「宮津城跡—学芸員と歩いて歴史探検、新たな魅力発見・発信—」

令和2年から取組を進めていたつなプロ最初のモデル。地域ミュージアム「京都府立丹後郷土資料館」を中心に、ミュージアム(学芸員)と教育機関(学校教員)のネットワークを活かし、地域の子どもたちが地中に眠る宮津城跡の痕跡を古地図を手に巡る街歩きツアーや地域の方の話、復元CGをもとに、宮津の魅力を発見しました。

そして、発見した宮津城の魅力「AtoZ」という手法を用いて冊子にまとめました。

- 対象:丹後地域在住の小・中・高校生
- 内容:「宮津城跡—学芸員と歩いて歴史探検、新たな魅力発見・発信—」
- 参加:地元の小中高生、学校関係者、教育委員会、学芸員等 29名
- 成果:「宮津城AtoZ」の作成

Point



- ①公募により実施(定員20名 参加18名)
- ②小学5年生から高校3年生までが参加した多世代交流プログラム
- ③独学で宮津城を研究、CG制作をされている地域の方へのインタビューや古地図の活用など多彩な取組
- ④街歩きツアーには地域の小中学校の教員も参加、皆で体験、皆で学ぶ

事前学習

令和3年8月1日

宮津城の絵図や関連する古文書、出土遺物、復元CGなどを見学し、学芸員や地域の方の話を聞いて、街歩きに備えました。



体験ツアー

令和3年11月7日

学芸員と一緒に地中に眠る宮津城の痕跡を探るべく、宮津市街地と宮津城の重ね地図をもとに街歩きを実施しました。





体験ツアー動画公開中!

「地中に眠る宮津城跡
一学芸員と歩いて歴史探検、新たな魅力発見・発信」

https://www.youtube.com/watch?v=uGbOE_22Y3o



事後学習 (成果物作成・発表準備)

令和3年11月14日

街歩きの成果をAtoZの形にまとめるワークとオリジナル地図作りを行い、ミュージアムシンポジウム(体験発表会)の準備を行いました。

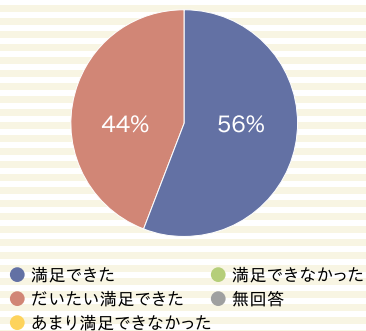


成果物:「宮津城AtoZ」冊子

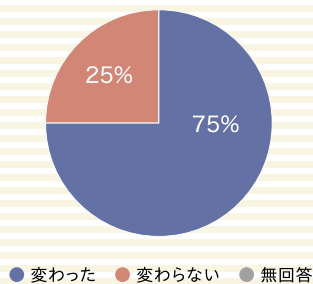
参加者の声

- 地図を作るのがとても楽しく、宮津について色々知ることができた。発表はとても緊張したけど宮津の良さをたくさん伝えられて良かった。
- 宮津はいいところがたくさんあると知りました。歴史ももっといろいろ知りたいです。
- 子どもに歴史を感じさせるだけでなく、様々な立場の大人に出会い、学校の外での人とのつながりを感じさせるとても貴重な体験だった。これを「次」にどうつなぐのかを模索していきたい(教員)。

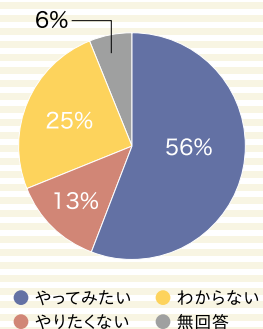
街歩きツアー・学習の満足度



参加前後での地域に対する思い



またやってみるか



令和3年度

次世代と地域文化をつなぐ
ミュージアムプロジェクト

亀岡

モデル



八木城登城路からの遠景

「八木城(神前北山城)を探検!」

宮津モデルと同時期に実施した「山城(やまじろ)」を探検・探究するプログラム。地域ミュージアム「亀岡市文化資料館」を中心に、亀岡市立青野小学校5年生が丹波三大山城の1つ「八木城」を探検し、自分たちの住む地域「青野」の魅力を発見しました。

小学生の探究心をくすぐる工夫をこらしたプログラム実施により発見した青野地域の魅力を「AtoZ」という手法を用いて冊子にまとめ、さらに劇の創作を行いました。

- 対象: 亀岡地域在住の小学生
- 内容: 「八木城(神前北山城)を探検!」
- 参加: 地元の小学5年生、学校関係者、教育委員会、学芸員等 15名
- 成果: 「青野AtoZ」の作成、創作劇

Point



- ①教育課程内での実施(小学5年生9名が参加)
- ②少人数・学校授業により十分な学習時間の確保
- ③亀岡市みらい教育リサーチセンター、自然体験活動アドバイザーのお二方の協力を得て、楽しくワクワクできる授業を実施
- ④成果発表として子どもたちが出演・演出を手がける創作劇を上映

事前学習

令和3年11月11日

青野小学校5年生が授業をとおして山城の仕組みや八木城の歴史について学びました。



体験ツアー

令和3年11月18日

八木城を目指して登山を行い、クイズ形式で「堀切」や「土塁」など山城の構造物を発見するワークを実施し、山頂付近の本丸跡では、「エイエイオー」と勝ちどきをあげました。





体験ツアー動画公開中!

「青野小学校5年生 八木城(神前北山城)を探検!」

<https://www.youtube.com/watch?v=2uenNcVyrHc>



事後学習(成果物作成・発表準備)

令和3年12月2日



成果物:「宮津城AtoZ」冊子



自然歩きの成果をAtoZの形にまとめるワークと八木城と内藤ジョアンをテーマにした創作劇を作成し、ミュージアムシンポジウム(体験発表会)の準備を行いました。



創作劇
「内藤ジョアンと明智光秀〜10人のものがたり〜」

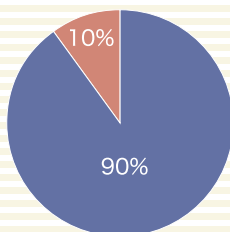
<https://youtu.be/CVHMfnSZLkE>



参加者の声

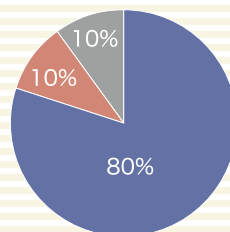
- (八木城には)きれいなけしきがあった。いろんなしかけでできをいらせないようにしていたところ(に満足)。
- 自分の地域や他の地域にたくさんのみ力があり、とてもいいと思いました。つれていってくださりありがとうございました。
- わたしのところは山城だったけれど、地面に立っているお城も、ちがったかたちで、しかけがほどこされていた。(宮津の発表を見ての感想)

街歩きツアー・学習の満足度



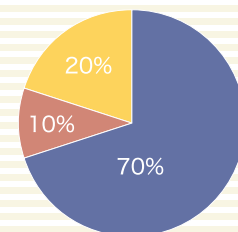
● 満足できた ● 満足できなかった
● だいたい満足できた ● 無回答
● あまり満足できなかった

参加前後での地域に対する思い



● 変わった ● 変わらない ● 無回答

またやってみたいか



● やってみたい ● わからない
● やりたくない ● 無回答

令和4年度

次世代と地域文化をつなぐ
ミュージアムプロジェクト

京丹後

モデル




「高龍小学校5年生RyuTuberが ふるさとの古墳の魅力を発信してみた!」

京丹後市久美浜町のふるさとの宝「湯舟坂2号墳」や「須田平野古墳」を探究するプログラム。地域ミュージアム「京丹後市立丹後古代の里資料館」を中心に、京丹後市立高龍小学校5年生が大学生と一緒に学び、自分たちの住む地域の魅力を発見しました。

古墳について学び体験した内容を子どもたち自身が発信者「RyuTuber(リ्यूチューバー)」となって動画出演するなど広報に注力するとともに、発見した高龍小学校周辺地域の魅力を「AtoZ」という手法を用いて冊子にまとめました。

- 対象:高龍小学校5年生29名
- 内容:「高龍小学校5年生RyuTuberがふるさとの古墳の魅力を発信してみた!」
- 参加:高龍小学校5年生29名・学校関係者、京都府立大学学生、学芸員等
- 成果:「高龍AtoZ」の作成

- Point** 
- ①教育課程内での実施(小学5年生29名が参加)
 - ②少人数・学校授業により十分な学習時間の確保
 - ③地域で研究活動を行う大学と連携し、大学生と一緒に学びや体験活動を実施することでの多世代交流
 - ④子どもたちが地域の魅力の発信者として広報動画を制作・出演

事前学習&大学生との体験事業

令和4年9月22日・26日

子どもたちが自分たちの住む地域の古墳や祭り等について学芸員から学んだ後、考古学を学ぶ京都市内の大学生から古墳の体験授業を受けました。

「事前学習&大学生との体験事業」

<https://youtu.be/TS4p7Vu4rol>



体験ツアー

令和4年11月28日

須田平野古墳、湯舟坂2号墳等を子どもたちがクイズ形式で案内・PRする動画を制作、地域の魅力を発信するYouTuberとしてデビューしました。



体験ツアー動画公開中!

「高龍小学校5年生RyuTuberがふるさとの古墳の魅力を発信してみた!」

<https://youtu.be/2umHXZcRo2Y>



事後学習 (成果物作成・発表準備)

令和5年1月12日・18日・20日

授業のなかで、学芸員・大学生と一緒に今回学んだことをAからZの言葉で表すワークショップを行い、まとめました。



成果物:「高龍AtoZ」冊子

校内発表会&つなプロ発表会

令和4年11月5日・12月19日

校内発表会では、これまでの体験で学んだことを創作劇等により発表し、つなプロ発表会では発表に加え、子どもたちがインタビュアーとなって、来場者と交流を行いました。

校内発表会



校内発表会

https://youtu.be/CKXidRm_d2g


つなプロ発表会



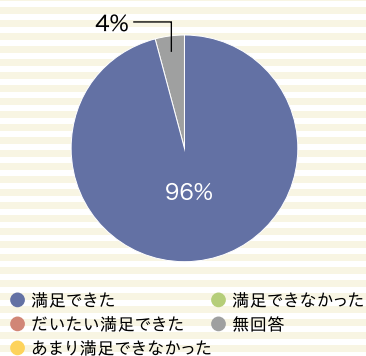
つなプロ発表会

<https://youtu.be/OV7vOICjkuQ>

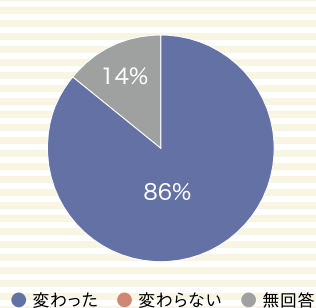

参加者の声

- 学習発表会では古墳やハニワ、土器などのことや、つなプロのことについて伝えられてよかったです。劇をしたのも楽しかったです。
- 最初は「古墳って小さいし、有名なところじゃないんだろうな～」と思っていたけど、「つなプロ」に参加して、久美浜にある古墳は大刀も出てきていて、本当にすごいところなんだということを知った。

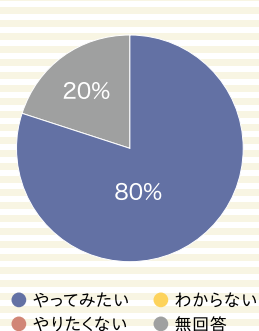
街歩きツアー・学習の満足度



参加前後での地域に対する思い



またやってみたいか



子どもたちの取組発表を聞いた地域の方の声

- 子ども時代に地域の宝を知るということが大切なんだと思った。
- 小学生が思った以上に頑張って成果を上げていたのでビックリした。地元にも知らないことがあったので楽しく見せてもらった。一度現場に足を運びたいと思われた。
- 本で見るより、大人から聞くだけより、一番生きた体験ができて一生忘れない勉強ができたと思う。

令和5年度

次世代と地域文化をつなぐ
ミュージアムプロジェクト

向日

モデル



「戦国時代へタイムスリップ!～西岡衆をさぐる～」

乙訓地域で室町から戦国時代に活躍した武士集団「西岡衆」を探求するプログラム。地域ミュージアム「向日市文化資料館」を中心に、公募で集まった小中学生が自分たちの住む地域の「西岡衆」の魅力を発見しました。

西岡衆をさぐるために、お茶や書状、乗馬など様々な体験とお城見学などを実施するとともに、発見した西岡衆の魅力を「AtoZ」という手法を用いて冊子にまとめました。

- 対象：向日市在住の小・中学生 17名
- 内容：「戦国時代へタイムスリップ!～西岡衆をさぐる～」
- 参加：地元の小中学生、学校関係者、教育委員会、ミュージアム職員等
- 成果：「向日AtoZ」の作成

Point



- ①公募により実施(定員20名 参加17名)
- ②小学4年生から中学2年生までが参加した多世代交流プログラム
- ③地域の歴史研究会の企画協力により、在来馬による乗馬体験や寄合ロールプレイングなど独創的な探究プログラムの実施
- ④全10回のプログラムにより長いスパンでの深い学びを実現

事前学習

令和5年8月27日

公募で集まった小中学生が、乙訓でかつて活躍した西岡衆について、学びました。



体験活動

令和5年8月27日～
9月24日

紙の兜作りや、書状や連歌、茶道について学び、実際にお茶をたてるなど体験を行いました。



体験学習

令和5年10月1日～
12月17日

物集女城跡や石見城跡などの見学、武士の戦い、乗馬などの体験学習を行い、最終回は向日神社で西岡衆になりきり、寄合を行いました。



体験学習動画公開中!

「戦国時代へタイムスリップ!～西岡衆をさぐる～」

<https://youtu.be/QR8RQLbtZZI>



事後学習 (成果物作成・発表準備)

令和5年12月24日



これまでの体験学習の振り返りを行いつつ、発表会に向けたリハーサルを行いました。また、今回学んだことをAからZの言葉で表す冊子のワークを行いました。



成果物:「向日AtoZ」冊子



学習成果発表会

令和6年2月4日

地域住民向けに、これまでの取組を発表、西岡衆の紙芝居披露や、来場者との意見交換も行いました。



学習成果発表会

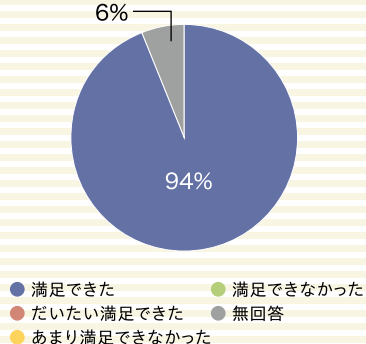
<https://youtu.be/1-qSp6U3ubY>



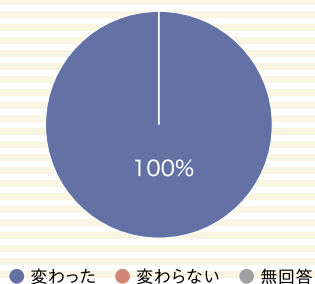
参加者の声

- 馬に乗ってみて、騎馬武者の目線をはじめて知った。
- 疑問や発見が増えた分だけもっとふるさとのことについて知りたいと思った。
- 歴史はわからなかったけど、つなプロに参加して歴史や文化がよくわかった。

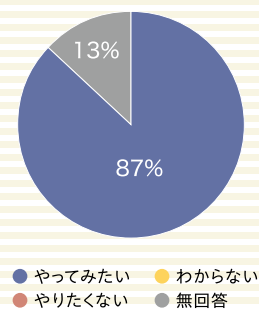
街歩きツアー・学習の満足度



参加前後での地域に対する思い



またやってみたいか



子どもたちの取組発表を聞いた地域の方の声

- 子どもたちがいろいろな体験をとおして、段々と仲良くチームワークが育っていく様子が伝わってとても感動した。
- つなプロは歴史を学ぶだけでなく子どもたちが意見を交わしたり、発表の資料作りまでしたりするのがとても良い。
- 地域の歴史があって現在がある、歴史を通じて将来を考えることができたことは子どもたちの一生の財産。

つなプロ成果発表会 オンライン併用開催

「宮津」と「亀岡」の2地域で実施したつなプロ体験活動の様子を、それぞれの会場をオンラインでつなぎ、参加者の子どもたちが発表しました。

- 日時: 令和3年12月19日
- 会場: 京都学・歴史館、宮津市福祉・教育総合プラザ、亀岡市文化資料館
- 内容: 宮津・亀岡の2会場と京都学・歴史館をオンラインでつなぎ、子どもたちが発見した地域の魅力を発表、YouTubeで同時配信
- 参加: (宮津)48名、(亀岡)17名、(京都)7名、(YouTube)48名 計120名

来場者の声

- “つなぐ”というキーワードのもと、様々なつながりにより学びが深まった取組となったと思う。今後題材を変えて展開できる事業であると感じた。
- 我が子が参加しました。娘は興味があるのか、ないのか!?ですが、この先大人になったとき、今回の街歩きで発見した事は、きっと、うれしそうに伝えるだろうと目に浮かびました。



令和4年度

次世代と地域文化をつなぐ ミュージアムシンポジウム

所属・肩書は当時のものです。

つなプロの各地域モデルについて、担当ミュージアムから取組発表を行った後、有識者による講演、パネルディスカッションを行い、「次世代と地域文化をつなぐミュージアムの役割と課題」について、ミュージアム・有識者だけでなく会場の参加者とも一緒に考えました。

- 日時: 令和5年3月11日
- 会場: キャンパスプラザ京都(会場参加・YouTubeにてライブ配信)
- 内容: 第1部: 「つなプロ」地域モデルの取組報告
第2部: 講演「次世代と地域文化をつなぐAtoZ」 塩見直紀氏
第3部: パネルディスカッション「次世代と地域文化をつなぐためにミュージアムに何ができるか?」
- 参加: 会場 28名、YouTube 29名 合計: 57名

シンポジウムの動画: <https://youtu.be/hJwxuiKxY4E>



- 組み合わせることで新しいものが生まれる
- 子どもたちに「ここには何もない」と言わせないような時代をつくっていこう

半農半X研究所代表/総務省地域力創造アドバイザー 塩見 直紀氏



- 都会に比べ文化に触れる機会の少ない子どもたちと博物館・学校がつながる機会を増やせた
- ノウハウの見える化・共有化が大事、みんなで頑張りよう!

【宮津モデル】 京都府立丹後郷土資料館 技師 稲穂 将士 氏

- 1時間の出前授業と違い、1年の活動をとおして関わったことで、子どもたちの反応がよくわかった
- 学校現場の探究学習にミュージアムが関わっていける



【亀岡モデル】 亀岡市文化資料館 主幹 八木 めぐみ 氏

- ミュージアムがハブとなることで、大学がない地域で、地域・学校と大学・大学生とのつながりを作り、共に学ぶ場が生まれた
- 一定の期間、学校とミュージアムが連携して授業を行うことで、「丹後学」や次世代につながる双方向の学びが生まれた



【京丹後モデル】 京丹後市立丹後古代の里資料館 館長 新谷 勝行 氏



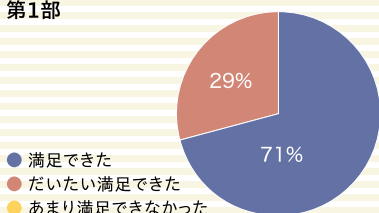
- 地域文化に触れることは人生を豊かにする、とても素敵なこと。そんな気づきをミュージアムが中心となって地域と一緒にやっていけたら

福知山公立大学 地域経営学部教授 谷口 知弘 氏

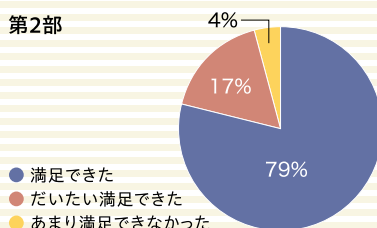
来場者の声

- ミュージアムを通して、世代や地域の枠組みを超えた交流を積極的にしていくことが、地域文化の活性化に繋がると思った。
- 各地域の特色の違いから、この事業の持つ枠組の広さと深さを感じた。
- 学校のカリキュラムや人やお金といった課題をどうクリアしていくか、仲間をつくって知恵を出し合ったら乗り越えていけるのではと少し希望をいただいた。
- 困ったことや課題についても話していただいたのがよかった。成果と課題どちらも知りたい。仲間を集める、連携することによってうまれるものにワクワク感を感じた。

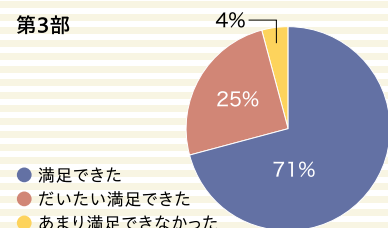
第1部



第2部



第3部





次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト
(つなプロ)のこれまでの取組をもとに探究学習に役立つ
ワークブックを作りました。ぜひこちらをご覧ください!

公式ウェブサイトからダウンロードいただけます。

<https://museumforum.pref.kyoto.lg.jp/tsunapro/2011/>



つなプロ 取組紹介Book

発行日 | 令和6年2月26日

協 力 | 宮津モデル 京都府立丹後郷土資料館
亀岡モデル 亀岡市文化資料館
京丹後モデル 京丹後市立丹後古代の里資料館
向日モデル 向日市文化資料館

文・発行

KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会
(事務局:京都市文化生活部文化政策室)



令和5年度博物館機能強化推進事業
(Innovate MUSEUM事業)